

令和6年度末 革新的技術実証事業評価委員会の結果について

令和7年度予算にかかる新規採択技術について評価結果を示す。

●令和7年度予算採択技術（実規模実証新規採択）

○好気性グラニュールによるダウンサイジング可能な下水処理技術（メタウォーター㈱、日本下水道事業団、宮城県共同研究体）

提案された技術について、将来の人口減少に対応した、建設費・維持管理費が経済的で段階的なダウンサイジングが可能な水処理技術を目指して研究を実施していただきたい。なお、既存施設の活用方法、安定した処理水質の確保や最適運転条件の検討にも留意すること。

○補強金具による非耐震ダクタイル鋳鉄管路の耐震補強の実証事業（大成機工㈱、㈱NJS、穴水町共同研究体）

提案された技術について、既設の基幹管路の効率的な耐震補強が可能な技術を目指して研究を実施していただきたい。なお、水道事業者のニーズ把握、従来技術と比較した有用性、適用範囲の明確化、実証フィールドの多様化の検討にも配慮すること。さらに、継手部挙動のモニタリングなど施工後の実証項目の検討、自主研究期間における検証項目の検討などにも特に留意すること。

●令和7年度予算採択技術（FS調査新規採択）

○中大口径管内表面状態評価技術（シャープ㈱、㈱カンツール共同研究体）

提案された技術について、評価が難しかった環境にある下水道管の腐食進行度を効果的かつ効率的に評価ができる技術の確立を目指して研究を実施していただきたい。なお、実装に向けて、下水道管理者のニーズ把握にも留意すること。

○浄水場ビッグデータを活用したかび臭濃度予測ソフトの開発に関する調査事業（前澤工業㈱、中央大学、北海道科学大学共同研究体）

提案された技術について、現場の業務軽減や運転の効率化などに繋がる予測結果の活用方法に留意しつつ、機械学習によるかび臭予測システムの構築を目指して研究を実施していただきたい。

○加速度計による衝撃応答計測・微動計測技術を用いた水管橋の点検効率化および高度化
実証事業（㈱日水コン、㈱構造計画研究所、鳥取大学、神戸市共同研究体）

提案された技術について、水管橋点検の高度化及び定量的な診断・評価が可能となる点検・診断技術の確立を目指して研究を実施していただきたい。なお、上下水道事業体のニーズ、実装に向けた運用方法の確立にも留意すること。